


ふりがな 氏名	まきた たかのり 蒔田 尚典	都道府県 北海道	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・十勝岳山麓ジオパーク推進協議会 事務局員 ・日本ジオパークネットワーク運営会議教育ワーキンググループリーダー 		
私のESD活動	ジオパーク加盟地域の持続可能な発展に向けて、教育関係者中心にESDの普及啓発に努めている		

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

○2014年～2015年、四国西予ジオパーク内にある西予市立皆田小学校が内閣府の事業である防災教育チャレンジプランに参加しました。東日本大震災や熊本地震など、災害の絶えない日本において、子どもたちへの防災教育は非常に重要なテーマです。このプログラムでは、学校、地域、行政が一体となって、避難所体験や防災町歩きなど、様々な防災教育活動を展開しました。そして2015年度にはその活動が認められ、「年で2団体しか受賞できない防災教育優秀賞」を受賞することができました。このプログラムにおいて、応募者はジオパークの担当者として行政と学校の間に入り、防災町歩きなどを主導して行い、災害の時に自分たちはどうしたらいいかについて、子供たちと考える授業を行いました。

※応募者は、昨年度まで四国西予ジオパーク推進協議会にて活動

○日本全国のジオパークとジオパークを目指す地域が加盟する日本ジオパークネットワーク(以下 JGN)では、2015年から、各地のジオパークで活躍する担当者同士が、共通のテーマの下に集まって共同活動を展開するワーキンググループが誕生しました。応募者は教育に関するワーキンググループを立ち上げ、現在は15名規模で活動を進めています。昨年はその活動の一環で、霧島ジオパークで行われた日本ジオパーク全国大会のオプションジオツアー(於、阿蘇ジオパーク)でESDとジオパーク教育の関わりについて紹介し、ジオパークのネットワーク内でESDの普及を行うことができました。

○「参考2(ワーキンググループ)」 http://www.geopark.jp/activity/education/working_group.html

○「参考3(取り組み)」 <http://www.mct.ne.jp/users/kiri-geopark/6th/JGN/op-tour.pdf> (5-6p)

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体(地域や日本国内、国際)の発展にどのように貢献したいと思いますか？

○2016年10月活動予定: JGNでは、毎年各地域で全国大会を開催しています。そこでは10以上の分科会が開催され様々な議論が展開されますが、私がリーダーを務める教育ワーキンググループでは「これからのジオパーク教育とESD」というテーマで分科会を開催する予定です。昨年度、ジオパークはユネスコの正式な事業になったが、ESDの認知度は低い上、手探りなのが現状です。そのため、講演とグループワークを通じてジオパーク内のESDの理解向上と地域での実践のきっかけづくりを行いたいと考えています。

○2016年12月活動予定: 文部科学省主催で行われるユネスコスクール全国大会にJGNで参加する予定で現在進めています。担当は私がリーダーを務める教育ワーキンググループが中心となって、ブース出展を行う予定です。ESD実践者にジオパークをPRすることでユネスコスクールとジオパークのコラボの実現を目指していきます。

○2017年度以降: 当地域はジオパーク認定を目指している地域でまだ活動が始まったばかりです。そのため、この様な活動を通じて、当地域の教育委員会、学校関係者とESD実践やユネスコスクール申請について議論する場を持ち、少しずつ無理のない程度でESDの普及を進めていきたいと考えています。